



ユーザーガイド

© Copyright 2018 HP Development Company, L.P.

AMD は、米国 Advanced Micro Devices, Inc. の商標または登録商標です。HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。Microsoft および Windows は米国またはその他の国における Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP 製品およびサービスに対する保証は、当該製品およびサービスに付属の保証規定に明示的に記載されているものに限られます。本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。本書に記載されている製品情報は、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対しては、責任を負いかねますのでご了承ください。

#### **製品についての注意事項**

このガイドでは、ほとんどのモデルに共通の機能について説明します。一部の機能は、お使いの製品では使用できない場合があります。最新版のユーザーガイドを確認するには、HP のサポート Web サイト、<https://support.hp.com/jp-ja/> にアクセスし、説明に沿ってお使いの製品を探します。**[ユーザーガイド]**を選択します。

初版：2018 年 7 月

製品番号：L35048-291

## このガイドについて

このガイドでは、モニターの特長、モニターの設置方法、および技術仕様について説明します。

- 
- ⚠ **警告！** 回避しなければ死亡または重傷に至る**可能性のある危険な状況**を示します。
  - ⚠ **注意：** 回避しなければ軽度または中度の傷害に至る**可能性のある危険な状況**を示します。
  - 📄 **重要：** 重要と考えられるものの、危険性に関わるとは見なされない情報を示します（本体の損傷に関する記載など）。この重要事項は、説明に沿って正しく操作しなければ、データの損失やハードウェアまたはソフトウェアの破損を引き起こす可能性があることをユーザーに警告します。また、概念を説明したり、タスクを完了したりするための重要な情報を示します。
  - 📖 **注記：** 本文の重要なポイントを強調または補足する追加情報を示します。
  - 💡 **ヒント：** タスクを完了させるために役立つヒントを示します。
- 

**HDMI**™  
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

この製品には HDMI（High-Definition Multimedia Interface）テクノロジーが搭載されています。



# 目次

<b>1 お使いになる前に</b> .....	<b>1</b>
安全に関する重要な情報 .....	1
製品の特長および各部 .....	3
特長 .....	3
背面の各部 .....	4
23.8 インチ（対角長 60.5 cm）モデル .....	4
27 インチ（対角長 68.6 cm）モデル .....	5
前面の各部 .....	6
モニターの設定 .....	7
モニター スタンドの取り付け .....	7
ケーブルの接続 .....	8
モニターの調整 .....	10
モニターの電源投入 .....	11
しみおよび画像の焼き付きに関する HP のポリシー .....	12
セキュリティ ロック ケーブルの取り付け .....	12
<b>2 モニターの使用</b> .....	<b>13</b>
ソフトウェアおよびユーティリティ .....	13
情報ファイル .....	13
Image Color Matching ファイル .....	13
オンスクリーン ディスプレイ（OSD）メニューの使用 .....	14
自動スリープモードの使用 .....	15
低ブルー ライト モードの調整 .....	15
<b>3 サポートおよびトラブルシューティング</b> .....	<b>16</b>
一般的なトラブルの解決方法 .....	16
ボタンのロックアウト .....	17
自動調整機能の使用（アナログ入力） .....	17
画質の最適化（アナログ入力） .....	18
HP のサポート窓口へのお問い合わせ .....	20
お問い合わせになる前に .....	20
シリアル番号と製品番号の位置 .....	20

<b>4 モニターの保守</b> .....	<b>21</b>
保守に関するガイドライン .....	21
モニターの清掃 .....	21
モニターの運搬 .....	22
<b>付録 A 技術仕様</b> .....	<b>23</b>
23.8 インチ（対角長 60.5 cm）モデル .....	23
27 インチ（対角長 68.6 cm）モデル .....	24
電源アダプター .....	25
プリセットディスプレイ解像度 .....	25
ユーザー モードの使用 .....	25
省電力機能 .....	26
<b>付録 B ユーザー サポート</b> .....	<b>27</b>
ユーザー サポート .....	27
必要なテクノロジー ツールの確認 .....	27
HP の取り組み .....	27
IAAP（International Association of Accessibility Professionals） .....	28
最適な支援技術の確認 .....	28
ご自身のニーズの評価 .....	28
HP 製のコンピューターおよびタブレット製品のユーザー サポート .....	28
標準および法令 .....	29
標準 .....	29
Mandate 376 – EN 301 549（欧州連合同向け） .....	29
WCAG（Web Content Accessibility Guidelines） .....	29
法令および規制 .....	30
United States（米国向け） .....	30
21st Century Communications and Video Accessibility Act（CVAA）（米国向け） .....	30
Canada（カナダ向け） .....	31
Europe（欧州向け） .....	31
United Kingdom（英国向け） .....	31
Australia（オーストラリア向け） .....	31
全世界 .....	31
ユーザー サポートに関する役立つリソースおよびリンク .....	32
組織（英語のみ） .....	32
教育機関（英語のみ） .....	32
障がいに関するその他のリソース（英語のみ） .....	32
HP のリンク .....	32
HP のサポート窓口へのお問い合わせ .....	33







# 1 お使いになる前に

## 安全に関する重要な情報

お使いのモニターには外部電源アダプターおよびコードが付属しています。この製品を日本国内で使用する場合は、製品に付属している外部電源コードのみをお使いください。また、付属している外部電源コードは他の製品には使用できません。モニターに接続する適切な外部電源コードについては、『Product Notices』（製品についての注意事項）を参照してください。このドキュメントは、ドキュメントキットに収録されています。

**⚠ 警告！** 感電や装置の損傷を防ぐため、必ず以下の注意事項を守ってください。

- 外部電源コードは常に、装置の近くの手が届きやすい場所にある電源コンセントに接続してください。
- モニターへの外部電源の供給を完全に遮断して待機電力をカットするには、電源を切った後、外部電源コードをコンセントから抜いてください。
- 安全に使用するため、必ず外部電源コードのアース端子を使用してアース（接地）してください。2 ピンのアダプターを接続するなどして外部電源コードのアース端子を無効にしないでください。アース端子は、製品を安全に使用するための重要な装置です。

安全のために、外部電源コードや電源ケーブルの上には物を置かないでください。また、コードやケーブルは、誤って踏んだり足を引っかけたりしないように配線してください。外部電源コードや電源ケーブルを引っばらないでください。コンセントから抜くときは、プラグの部分を持ってください。外部電源コードおよび電源コンセントの外観は国や地域によって異なります。

操作する人の健康を損なわないようにするため、『快適に使用していただくために』をお読みください。正しい作業環境の整え方や、作業をするときの正しい姿勢、および健康上/作業上の習慣について説明しており、さらに、重要な電氣的/物理的安全基準についての情報も提供しています。このガイドは、HP の Web サイト、<http://www.hp.com/ergo/>（英語サイト）から[日本語]を選択することで表示できます。

**📌 重要：** モニターおよびコンピューターの損傷を防ぐために、コンピューターおよび周辺装置（モニター、プリンター、スキャナーなど）のすべての外部電源コードをマルチソケットや無停電電源装置（UPS）などのサージ防止機能のあるサージ保安器に接続してください。マルチソケットの種類によっては、サージに対応していない場合があります。サージ防止機能のあるマルチソケットを使用することをおすすめします。サージ防止に失敗した場合は機器を交換できるように、損傷交換ポリシーを提供している製造販売元のマルチソケットを使用してください。

お使いの HP LCD モニターは、十分な大きさがあり丈夫で安定しているモニター設置用の台などに設置してください。

---

**⚠ 警告！**化粧だんす、本棚、棚、机、スピーカー、チェスト、またはカートなどの上に LCD モニターを不用意に置いた場合、LCD モニターが倒れて怪我をするおそれがあります。

- LCD モニターに接続するすべてのコードおよびケーブルについて、抜けたり、引っかかったり、人がつまずいたりしないように注意する必要があります。
- 電源コンセントに接続する機器の定格電流の合計がコンセントの許容電流を、またコードに接続する機器の定格電流の合計がコードの許容電流を超えないようにしてください。各機器の定格電流（AMPS または A）は本体に貼付された電源のラベルに記載されています。
- モニターは、手が届きやすい場所にある電源コンセントの近くに設置します。外部電源コードを電源コンセントから外すときは、必ずプラグをしっかりと持って抜きます。コードを引っばって抜かないでください。
- モニターを落としたり、不安定な台の上に置いたりしないでください。

**📖 注記：**この製品は、エンターテインメント目的に適しています。モニターを設置するときは、近くにある光源やその他の周辺光が原因で画面の乱反射が起きることのないよう、照明を調節した環境に設置するようにしてください。


---


# 製品の特長および各部

## 特長

この製品は AMD® FreeSync 対応モニターで、画像が変化しても滑らかで反応が早く、目に刺激を与えない画面で PC ゲームを楽しむことができます。モニターに接続されている外部ソースに、FreeSync ドライバーがインストールされている必要があります。

AMD FreeSync テクノロジーは、ゲームやビデオが滑らかに動かなかったり目に刺激を与えたりする問題をなくすために、モニターのリフレッシュレートをグラフィックスカードのフレームレートに固定します。特定の機能については、お使いのコンポーネントやシステムの製造元に問い合わせてください。

 **重要：** AMD Radeon グラフィックスおよび AMD A シリーズ APU 準拠のモニターでは、DisplayPort/HDMI Adaptive-Sync が必要です。HDMI 経由での FreeSync をサポートするには、AMD 15.11 Crimson 以降のドライバーが必要です。

 **注記：** 適切なリフレッシュレートは、モニターによって異なります。詳しくは、<http://www.amd.com/ja-jp/innovations/software-technologies/technologies-gaming/freesync/> を参照してください。


モニターで FreeSync を有効にするには、モニターの **メニュー** ボタンを押してオンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューを表示します。[カラー コントロール]→[表示モード]→[Gaming-FreeSync] (ゲーム用 FreeSync) の順に選択します。

このガイドでは、以下のモニターの特長について説明します。

- 23.8 インチ (対角長 60.5 cm) の表示画面領域のモデル (1920×1080 以下の解像度をサポート)
- 27 インチ (対角長 68.6 cm) の表示画面領域のモデル (1920×1080 以下の解像度をサポート)

このモニターの特長は以下のとおりです。

- LED バックライト付き IPS パネル
- 23.8 インチ (対角長 60.5 cm) および 27 インチ (対角長 68.6 cm) のモデルに、アンチグレア (非光沢) パネルを搭載
- さまざまな角度から鮮明に見ることができる画面表示
- 傾斜角度、画面の左右の向きおよび高さを調整可能
- HDMI (High-Definition Multimedia Interface) および VGA ビデオ入力
- AMD FreeSync に対応しているため、画像が変化しても滑らかで反応が早く、目に刺激を与えない画面で PC ゲームを楽しむことが可能
- プラグアンドプレイ機能 (オペレーティングシステムでサポートされる場合)
- 別売のセキュリティ ロック ケーブル用のスロットをモニターの背面に装備
- 簡単な設定で画面の最適化を可能にする、OSD による画面調節機能 (複数の言語に対応)
- すべてのデジタル入力で使用される HDCP (High-Bandwidth Digital Content Protection)
- 低消費電力の環境要件に準拠した省電力機能

 **注記：** 安全情報および規定に関する情報については、ドキュメントキットに収録されている『Product Notices』 (製品についての注意事項) を参照してください。お使いの製品の最新版のガイド等を確認するには、HP のサポート Web サイト、<https://support.hp.com/jp-ja/> にアクセスし、説明に沿ってお使いの製品を探します。[ユーザー ガイド]を選択します。

## 背面の各部

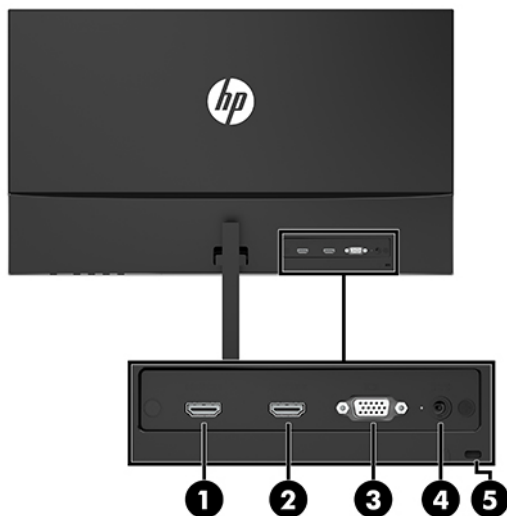
背面の各部の名称と位置は、モデルによって異なります。

### 23.8 インチ（対角長 60.5 cm）モデル



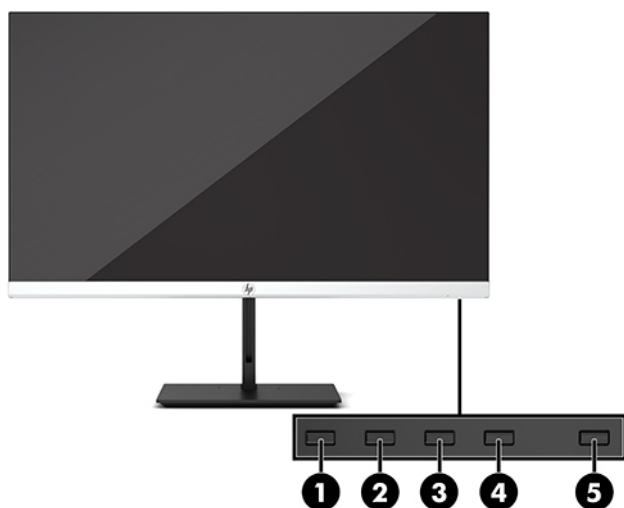
名称	機能
(1) HDMI 入力端子	HDMI ケーブルを入力デバイスに接続します
(2) VGA コネクタ	VGA ケーブルを入力デバイスに接続します
(3) 電源コネクタ	外部電源アダプターをモニターに接続します
(4) セキュリティロックケーブル用スロット	セキュリティロックケーブルをモニターに接続します

## 27 インチ（対角長 68.6 cm）モデル




名称	機能
(1) HDMI 1 入力端子	HDMI ケーブルを入力デバイスに接続します
(2) HDMI 2 入力端子	HDMI ケーブルを入力デバイスに接続します
(3) VGA コネクタ	VGA ケーブルを入力デバイスに接続します
(4) 電源コネクタ	外部電源アダプターをモニターに接続します
(5) セキュリティロックケーブル用スロット	セキュリティロックケーブルをモニターに接続します

## 前面の各部




名称	機能
(1) <b>メニュー/OK</b> ボタン	<b>メニュー</b> : オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューが閉じているときに押すと、OSD メインメニューが開きます <b>OK</b> : OSD メニューが開いているときに押すと、OSD メニューの項目を選択できます
(2) <b>情報/自動調整/-</b> (マイナス) 機能ボタン3 (割り当て可能)	<b>情報</b> : OSD メニューが開いているときに押すと、メインのビデオソースがHDMIの場合は[情報]メニューが開きます <b>自動調整</b> : OSD メニューが開いているときに押すと、メインのビデオソースがVGAの場合は、自動調整機能が有効になって画面表示が最適化されます <b>-</b> : OSD メニューが開いているときに押すと、メニューの項目間を逆方向に移動したり調整レベルを下げたりできます
(3) <b>入力/+</b> (プラス) 機能ボタン2 (割り当て可能)	<b>入力</b> : OSD メニューが開いているときに押すと、次のビデオ入力コネクタ (VGA または HDMI) に進みます <b>+</b> : OSD メニューが開いているときに押すと、メニューの項目間を順方向に移動したり調整レベルを上げたりできます
(4) <b>表示モード/終了</b> 機能ボタン1 (割り当て可能)	<b>表示モード</b> : OSD メニューが開いているときに押すと、[表示モード]メニューが開き、さまざまな画面表示設定を選択できます <b>終了</b> : OSD メニューが開いているときに押すと、変更を保存して OSD メニューを終了します
(5) <b>電源</b>	モニターの電源のオン/オフを切り替えます

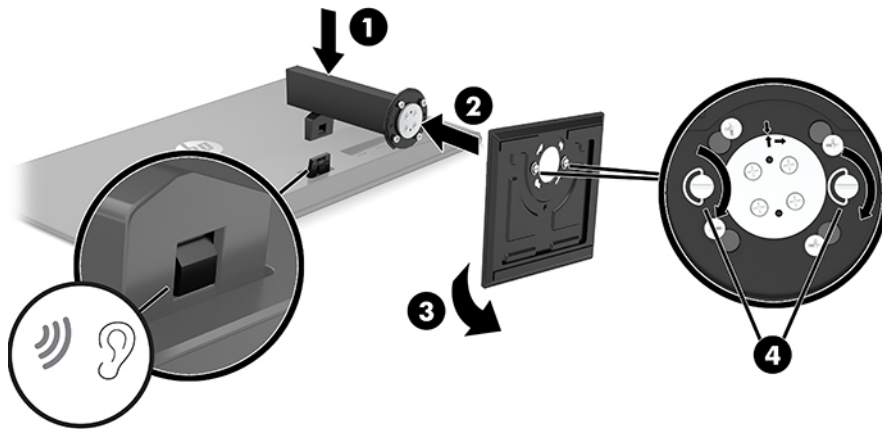
 **注記** : OSD メニューの機能ボタンを再設定して、頻繁に使用する操作をすばやく選択できます。**メニュー** ボタンを押して OSD メニューを開き、**[メニューコントロール]**を選択します。**[ボタンの割り当て]**を選択し、割り当てのボタンで使用可能なオプションをどれか選択します。

# モニターの設置

## モニター スタンドの取り付け

 **重要**：モニターの損傷を防止するため、LCD パネルの表面には触れないでください。パネル面への圧力によって、液晶に色むらや歪みが発生する場合があります。このような状態になった場合、画面を元に戻すことはできません。

1. モニターの前面を下向きにして、柔らかい清潔な布を敷いた、安定した平らな場所に置きます。
2. スタンドアームのコネクタをスライドさせてモニター本体の背面にあるコネクタに取り付けます (1)。スタンドアームが取り付けられると、カチッと音がして所定の位置に収まります。
3. 台座の底面とスタンドの支柱にある矢印の位置を合わせて支柱を台座に取り付け (2)、台座を左方向に回転させて (3)、2 本のつまみネジ (4) で台座を支柱に固定します。



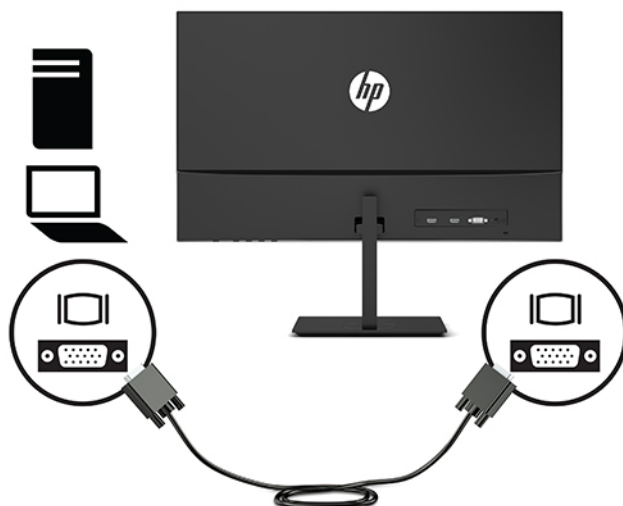
## ケーブルの接続

1. コンピューターの近くの作業がしやすく通気の良い場所にモニターを置きます。
2. ビデオケーブルを接続します。

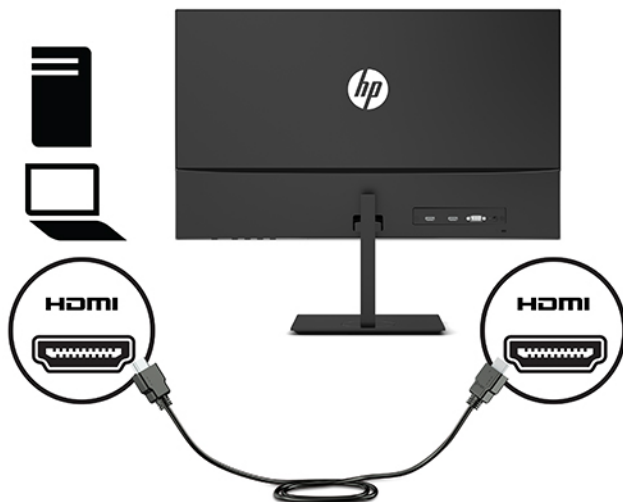
**重要：**同時に複数のビデオケーブルを接続すると、動作に不具合が生じてモニターに画像が表示されなくなるおそれがあります。コンピューターとモニターを接続するときは、1種類のビデオケーブルで接続してください。別の方法に変更する場合は、使用しないケーブルを取り外してください。

**注記：**入力系統から、有効なビデオ信号がモニター側で自動的に判別されます。手動でビデオ入力信号を選択するには、**メニュー** ボタンを押してオンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニューにアクセスし、**[入力コントロール]**を選択します。

- VGA ケーブルの一方の端をモニターの背面の VGA コネクタに接続し、もう一方の端を入力デバイスの VGA コネクタに接続します。

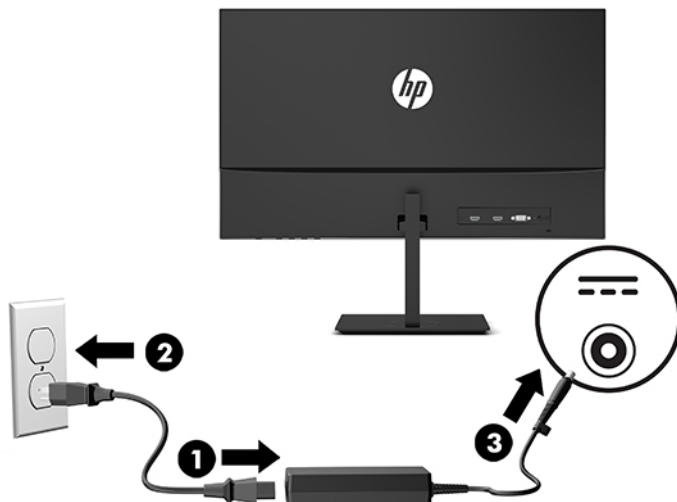


- HDMI ケーブルの一方の端をモニターの背面の HDMI 入力端子に接続し、もう一方の端を入力デバイスの HDMI 出力端子に接続します。





3. 外部電源コードの一方の端を外部電源アダプターに接続し (1)、もう一方の端をアース (接地) された電源コンセントに接続して (2)、外部電源コードの丸い端をモニターの電源コネクタに接続します (3)。



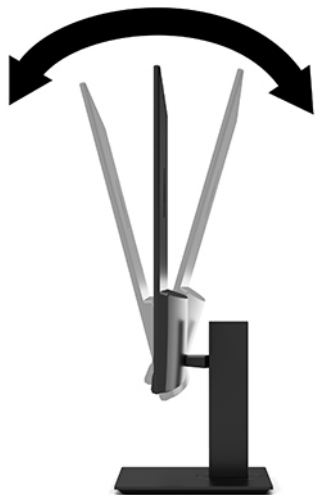
**⚠ 警告！** 感電や装置の損傷を防ぐため、必ず以下の注意事項を守ってください。

- 必ず外部電源コードのアース端子を使用してアースしてください。アース端子は、製品を安全に使用するための重要な装置です。
- 外部電源コードは、製品の近くの手が届きやすい場所にあるアースされた電源コンセントに差し込んでください。
- 製品への外部電源の供給を完全に遮断して待機電力をカットするには、電源を切った後、電源コンセントから外部電源コードのプラグを抜いてください。

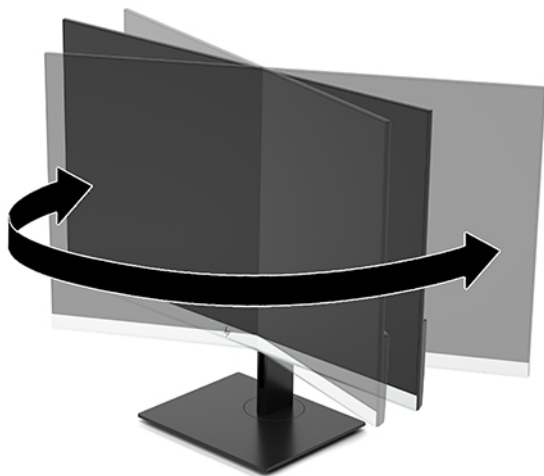
安全のために、外部電源コードや電源ケーブルの上には物を置かないでください。また、コードやケーブルは、誤って踏んだり足を引っ掛けたりしないように配線してください。外部電源コードや電源ケーブルを引っぱらないでください。外部電源コードを電源コンセントから抜くときは、プラグの部分を持ってください。外部電源コードおよび電源コンセントの外観は国や地域によって異なります。

## モニターの調整

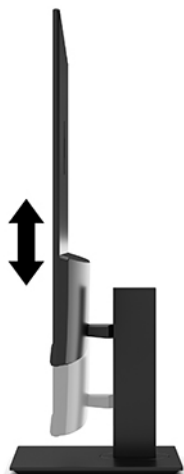
モニター本体を前または後ろに傾けて、見やすい位置に設定します。



モニター本体を左または右に回転させて、最適な表示角度に設定します。



モニターの高さを、作業環境に合った見やすい位置に調整します。モニターパネルの上端は、目の高さを超えないようにしてください。眼鏡やコンタクトレンズなどを使用している場合は、モニター的位置を低くし、傾ける方が作業しやすい場合があります。作業時の姿勢を調整した場合は、モニター的位置も必ず調整しなおしてください。




## モニターの電源投入

1. コンピューターの電源ボタンを押してコンピューターの電源を入れます。
2. モニター底面の電源ボタンを押してモニターの電源を入れます。



**重要：**モニターを使用しない状態が12時間以上経過して、同じ静止画像を表示したままにしておくと、残像が表示されることがあります。モニター画面に残像が表示されないようにするには、常にスクリーンセーバーアプリケーションを有効に設定しておくか、長時間モニターを使用しないときはモニターの電源を切ります。残像はすべてのLCD画面で発生する可能性がありますが、一定の時間が経過すると自然に消えます。モニター画面の「焼き付き」は、HPの保証の対象外です。

**注記：**電源ボタンを押しても電源が入らない場合は、電源ボタンのロックアウト機能が有効になっている可能性があります。この機能を無効にするには、モニターの電源ボタンを10秒程度押し続けます。

 **注記：**電源ランプはオンスクリーンディスプレイ（OSD）メニューで無効にできます。メニュー ボタンを押して OSD メニューを開き、**【電力コントロール】**を選択します。**【電源ランプ】**→**【オフ】**の順に選択します。

モニターの電源が初めて入ると、モニター ステータス メッセージが 5 秒間表示されます。このメッセージには、現在アクティブなビデオ入力信号、ソース自動切り替え設定のステータス（オンまたはオフ、初期設定はオン）、現在のプリセット画面解像度、および推奨されるプリセット画面解像度が示されます。

モニターは入力信号をスキャンしてアクティブな入力を検出し、その入力を使用して画像を表示します。

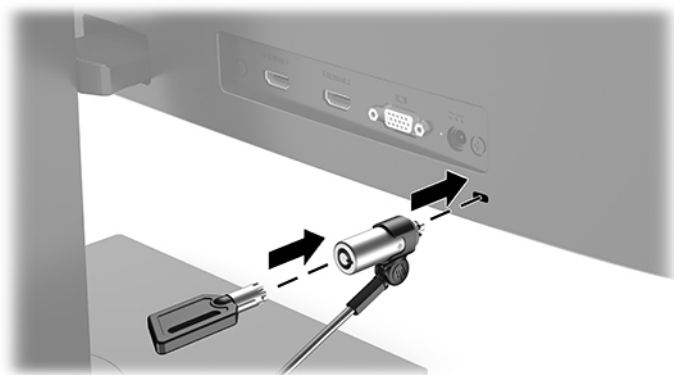
## しみおよび画像の焼き付きに関する HP のポリシー

IPS モデルのモニターは、非常に広い視野角と高画質を実現する IPS（In-Plane Switching）ディスプレイ技術で設計されています。IPS モニターはさまざまな高画質用途に適しています。ただし、このパネル技術は、静止画像、停止画像、または固定画像を長時間スクリーンセーバーを使用しないで表示するような用途には向いていません。そのような用途には、カメラによる監視、ビデオゲーム、マーケティングロゴ、画面に長時間表示されるテンプレートなどがあります。静止画像は、汚れやしみのように見える画像の焼き付きをモニター画面上に発生させることがあります。

モニター画面の「焼き付き」は、HP の保証の対象外です。画像の焼き付きが発生しないようにするには、モニターを使用しないときはモニターの電源を切断するか、電源管理設定を使用して、システムがアイドル状態になるとモニターの電源が切断されるようにします（システムでサポートされている場合）。

## セキュリティ ロック ケーブルの取り付け

別売のセキュリティ ロック ケーブルを使用して、モニターを固定物に固定できます。ロックの取り付けおよび取り外しには、付属の鍵を使用します。



---

## 2 モニターの使用

### ソフトウェアおよびユーティリティ

HP のサポート Web サイト、<https://support.hp.com/jp-ja/> から次のファイルをダウンロードして、お使いのコンピューターにインストールできます。

- INF（情報）ファイル
- ICM（Image Color Matching）ファイル（調整済みの色空間ごとに1つ）


#### 情報ファイル

INF ファイルは、モニターとお使いのコンピューターのグラフィックスアダプターとの互換性を確保するために、Windows®オペレーティングシステムが使用するモニターリソースを定義します。

このモニターは Windows プラグアンドプレイ機能に対応しており、INF ファイルをインストールしなくても正常に動作します。モニターのプラグアンドプレイ機能を利用するには、コンピューターのグラフィックスカードが VESA DDC2 に準拠しており、モニターが直接グラフィックスカードに接続されている必要があります。BNC 分岐コネクタまたは分配バッファ/分配ボックスを通して接続されている場合、プラグアンドプレイ機能は利用できません。

#### Image Color Matching ファイル

ICM ファイルはグラフィックスプログラムとともに使用されるデータファイルで、モニターとプリンター間またはスキャナーとモニター間の色調を調整します。このファイルは、プロファイルをサポートするグラフィックスプログラムの実行時に有効になります。

 **注記：** ICM のカラー プロファイルは、ICC（International Color Consortium）のプロファイル形式の仕様に基づいて記述されています。

## オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニューの使用


オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニューを使用して、好みに応じてモニターの画面表示を調整します。モニターのフロントパネルの底面にあるボタンを使用して OSD メニューにアクセスし、調整を行うことができます。

OSD メニューにアクセスして調整するには、以下の操作を行います。

1. モニターの電源が入っていない場合は、電源ボタンを押してモニターの電源を入れます。
2. OSD メニューにアクセスするには、**メニュー** ボタンを押して OSD メニューを開きます。
3. 3つの機能ボタンを使用すると、メニュー項目の移動、選択、および調整を実行できます。オンスクリーンボタンのラベルは、有効になっているメニューまたはサブメニューによって変わります。

以下の表に、OSD メインメニューのメニュー項目を示します。

メインメニュー	説明
輝度	画面の輝度を調整します
コントラスト	画面のコントラストレベルを調整します
カラーコントロール	画面の色を選択および調整します
入力コントロール	ビデオ入力信号を選択します
イメージコントロール	画像を調整します
電力コントロール	電源設定を調整します
メニューコントロール	OSD メニューおよび機能ボタンのコントロールを調整します
マネージメント	DDC/CI の設定を調整して、すべての OSD メニュー設定を工場出荷時の初期設定に戻します
言語	OSD メニューを表示する言語を選択します。工場出荷時の初期設定言語は英語です
情報	モニターに関する重要な情報を選択/表示します
終了	OSD メニュー画面を終了します

 **注記：** OSD メニューのシミュレーションを、HP のカスタマーセルフリペアプログラムのサービスメディアライブラリー（HP Customer Self Repair Services Media Library、<http://www.hp.com/go/sml/>、英語サイト）から見ることもできます。お使いのモニターのモデルを選択し、[On Screen Display (OSD) simulator]を選択してください。

## 自動スリープモードの使用

このモニターは、自動スリープモードを設定することにより、モニターの省電力状態を有効または無効にできます。自動スリープモードの有効または無効は、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューで設定できます。自動スリープモードが有効になっている場合 (初期設定では有効)、ホストコンピューターから低電力モードの信号 (水平同期信号と垂直同期信号のどちらかが検出されない状態) を受け取ると、モニターは省電力状態になります。

省電力状態 (スリープモード) になると、モニターの画面には何も表示されず、バックライトはオフになり、電源ランプはオレンジ色に点灯します。この状態のモニターの消費電力は 0.3 W です。ホストデバイスからアクティブな信号を受け取ると (ユーザーがマウスやキーボードを操作した場合など)、モニターはスリープモードから復帰します。

自動スリープモードは OSD メニューで無効にできます。メニュー ボタンを押して OSD メニューを開き、**【電力コントロール】**→**【自動スリープモード】**→**【オフ】**の順に選択します。

## 低ブルーライトモードの調整

モニターのブルーライトの発光を減らすと、ブルーライトによる目の疲労が軽減されます。HP モニターにはブルーライトの発光を減らして、画面上でコンテンツを見るときに刺激を低減するための設定が用意されています。見やすくなるようにモニターのライトを調整するには、以下の操作を行います。

1. **表示モード** ボタンを押して**【表示モード】**メニューを開くか、**メニュー** ボタンを押し、**【カラーコントロール】**→**【表示モード】**の順に選択します。
2. 目的の設定を選択します。
  - **低ブルーライト** (TUV 認証済み) : ブルーライトを少なくして目の快適性を高めます
  - **夜間** : ブルーライトの発光が最も少なくなるようモニターを調整します
  - **読書** : ブルーライトおよび輝度を室内表示用に最適化します
3. **【Save and Return】** (保存して戻る) を選択して設定を保存し、**【表示モード】**メニューを閉じます。設定を保存しない場合は、**【キャンセル】**を選択します。
4. オンスクリーンディスプレイ (OSD) メインメニューから**【Exit】** (終了) を選択します。

**⚠ 警告!** 操作する人の健康を損なわないようにするため、『快適に使用していただくために』をお読みください。正しい作業環境の整え方や、作業をするときの正しい姿勢、および健康上/作業上の習慣について説明しており、さらに、重要な電氣的/物理的安全基準についての情報も提供しています。このガイドは、HP の Web サイト、<http://www.hp.com/ergo/> (英語サイト) から**【日本語】**を選択することで表示できます。

# 3 サポートおよびトラブルシューティング

## 一般的なトラブルの解決方法

以下の表に、発生する可能性のあるトラブル、考えられる原因、および推奨する解決方法を示します。

トラブル	考えられる原因	解決方法
画面に何も表示され ないか、画像が点滅する	外部電源コードが外れている	外部電源コードを接続します
	モニターの電源が切れている	モニターの電源ボタンを押します <b>注記：</b> 電源ボタンを押しても電源が入らない場合は、電源ボタンを10秒程度押し続けて、電源ボタンのロックアウト機能を無効にします
	ビデオケーブルが接続されていない	ビデオケーブルを入力デバイスおよびモニターに接続します。ビデオケーブルを接続するときにコンピューターの電源がオフになっていることを確認してください。詳しくは、 <a href="#">8ページのケーブルの接続</a> を参照してください
	システムがスリープモードになっています	キーボードの任意のキーを押すかマウスを動かして、スリープモードを終了します
	ビデオカードに互換性がない	ビデオカードを交換するか、コンピューターに搭載されているビデオソースにビデオケーブルを接続します
複数のビデオケーブルを接続している	使用しないビデオケーブルを取り外します	
画像が暗すぎる	輝度設定が低すぎる	オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューを開いて <b>【輝度】</b> を選択し、必要に応じて輝度スケールを調整します
<b>【Input Signal Not Found】</b> というメッセージが画面に表示される	モニターのビデオケーブルが外れている	適切なビデオケーブルで、コンピューターとモニターを接続します。ビデオケーブルを接続するときにコンピューターの電源がオフになっていることを確認してください
<b>【Input Signal Out of Range】</b> というメッセージが画面に表示される	ビデオ解像度やリフレッシュレートが、モニターがサポートするレベルを超えるレベルに設定されている	サポートされている値に設定値を変更します。詳しくは、 <a href="#">25ページのプリセットディスプレイ解像度</a> を参照してください
モニターの電源は切れるが、省電力スリープモードには移行していないように見える	モニターの省電力モードが無効になっている	OSDメニューを開き、 <b>【電力コントロール】</b> → <b>【自動スリープモード】</b> の順に選択して、自動スリープを <b>【オン】</b> に設定します
<b>【OSD Lockout】</b> と画面に表示される	モニターのOSDロックアウト機能が有効になっている	<b>メニュー</b> ボタンを10秒程度押し続けて、OSDのロックアウト機能を無効にします
<b>【Power Button Lockout】</b> と画面に表示される	モニターの電源ボタンのロックアウト機能が有効になっている	電源ボタンを10秒程度押し続けて、電源ボタンのロックアウト機能を無効にします



## ボタンのロックアウト

電源ボタンまたはメニュー ボタンを 10 秒程度押し続けると、ボタンの機能がロックアウトされます。機能を復元するには、ボタンをもう一度 10 秒間押し続けます。この機能は、モニターの電源が入っていて、アクティブな信号が表示されており、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューが閉じている場合にのみ使用できます。

## 自動調整機能の使用 (アナログ入力)

以下のような場合に、自動調整機能によって画面の最適化が自動的に行われます。

- モニターの設定
- コンピューターの工場出荷状態へのリセット
- モニターの解像度の変更

オンスクリーンディスプレイ (OSD) の [Auto Adjustment] (自動調整) メニューから、VGA (アナログ) 入力の画面の画質をいつでも手動で最適化できます。HP のサポート Web サイト、<https://support.hp.com/jp-ja/> から自動調整用パターンソフトウェアユーティリティをダウンロードできます。

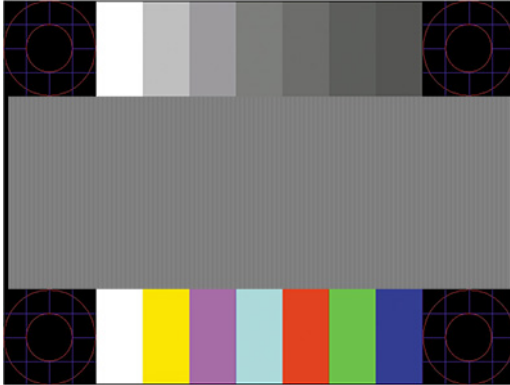
お使いのモニターが VGA 入力に未対応の場合は、この操作を行わないでください。お使いのモニターが VGA (アナログ) 入力対応の場合は、この手順を行うことで以下の画質状況が修正されます。

- ぼやけて不明瞭な焦点
- ゴースト、線、および影の表示
- 薄い縦線
- 画面上を上下に移動する横線
- 中心がずれて表示される画像

自動調整機能を使用するには、以下の操作を行います。

1. モニターの電源を入れてから 20 分間のウォームアップ時間をとります。
2. **メニュー** ボタンを押して OSD メニューを開き、**[Image Control]** (イメージコントロール) → **[Auto Adjustment]** の順に選択します。期待する結果が得られない場合は、引き続き以下の操作を行います。


3. 自動調整ユーティリティを開きます（このユーティリティは、HP のサポート Web サイト、<https://support.hp.com/jp-ja/> からダウンロードできます）。セットアップのためのテストパターンが表示されます。



4. **Esc** キーまたはキーボードの任意のキーを押して、テストパターンを終了します。


## 画質の最適化（アナログ入力）

オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニューの[Clock]（クロック）および[Phase]（フェーズ）を調節して、画質を向上させることができます。自動調整機能を使用しても期待する画質が得られない場合にのみこれらの機能を使用してください。

 **注記：** [Clock]および[Phase]はアナログ（VGA）入力を使用している場合にのみ調整できます。デジタル入力ではこれらの機能は調整できません。

[Phase]の設定は[Clock]の設定に影響されるので、最初に[Clock]を正しく設定しておく必要があります。

- **[Clock]：** 画面に表示される縦線や縞模様を最小限に抑えます。
- **[Phase]：** 画像のちらつきやかすみを最小限に抑えます。

 **注記：** これらの調整を行う場合は、自動調整用のソフトウェアユーティリティを使用すると最適な結果が得られます。このユーティリティは、HP のサポート Web サイト、<https://support.hp.com/jp-ja/> からダウンロードできます。

[Clock]および[Phase]の設定値を調整しているときにモニターの画像が歪む場合は、歪みがなくなるまで調整を続けます。工場出荷時の設定に戻すには、**メニュー** ボタンを押して OSD メニューを開き、**[Management]**（マネージメント）→**[Factory Reset]**（工場出荷時設定にリセット）→**[Yes]**（はい）の順に選択します。

縦線を除去するには、以下の操作を行います（クロック）。

1. **メニュー** ボタンを押して OSD メニューを開き、**[Image Control]**（イメージコントロール）→**[Clock and Phase]**（クロックとフェーズ）の順に選択します。
2. **[Clock]**を選択し、上向き矢印および下向き矢印のアイコンが表示されているモニターの機能ボタンを使用して、縦線を除去します。最適に調整されるポイントが過ぎてしまわないように、ボタンをゆっくりと押します。



3. クロックを調整しても画面にかすみ、ちらつき、線などが表示される場合は、続いてフェーズを調整します。

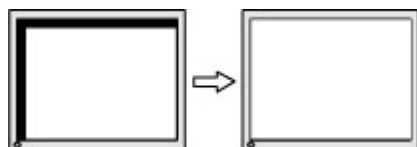
ちらつきやかすみを除去するには、以下の操作を行います（フェーズ）。

1. **メニュー** ボタンを押して OSD メニューを開き、**[Image Control]**→**[Clock and Phase]**の順に選択します。
2. **[Phase]**を選択し、上向き矢印および下向き矢印のアイコンが表示されているモニターの機能ボタンを使用して、ちらつきやかすみを除去します。コンピューターまたは取り付けられているグラフィックスコントローラーカードによっては、ちらつきやかすみが除去されないことがあります。



画面の位置を調整するには、以下の操作を行います（水平表示位置または垂直表示位置）。

1. **メニュー** ボタンを押して OSD メニューを開き、**[Image Control]**→**[Image Position]**（画面の位置）の順に選択します。
2. 上向き矢印および下向き矢印のアイコンが表示されているモニターの機能ボタンを押して、モニターの表示領域内で画像が適切な位置に表示されるように調節します。**[Horizontal Position]**（水平表示位置）では画像を左右に移動し、**[Vertical Position]**（垂直表示位置）では画像を上下に移動します。



## HP のサポート窓口へのお問い合わせ

ハードウェアまたはソフトウェアの問題を解決するには、<https://support.hp.com/jp-ja/> にアクセスしてください。このサイトでは、トラブルシューティングの手順など、お使いの製品に関する詳細情報を確認できます。また、このサイトの[お問い合わせ一覧]から HP へのお問い合わせ方法を確認できます。なお、お使いのモデルにより提供されるサービスは異なります。


### お問い合わせになる前に

トラブルシューティングの項目やオンラインの技術サポートを参照しても問題が解決しない場合は、HP のサポート窓口も利用できます。HP のサポート窓口にお問い合わせになるときに、以下のような情報を事前にご準備いただくと、解決がより迅速になる場合があります。

- モニターのモデル番号
- モニターのシリアル番号
- 購入年月日および購入店名
- 問題が発生したときの状況（できるだけ具体的にお願いします）
- 表示されたエラー メッセージ
- ハードウェア構成
- 使用しているハードウェアおよびソフトウェアの名前とバージョン
- メールアドレス

### シリアル番号と製品番号の位置

シリアル番号および製品番号は、モニター本体の底面にあるラベルに記載されています。お使いのモデルのモニターについて HP にお問い合わせになるときに、これらの番号が必要になる場合があります。

 **注記：** 場合によっては、ラベルを読むためにモニター本体を後ろに傾ける必要があります。




## 4 モニターの保守

### 保守に関するガイドライン

モニターの性能を向上させ長く使用するために、以下のガイドラインを参考にしてください。


- モニターのキャビネットを開けたり自分で修理したりしないでください。このガイドに記載されている調整機能のみを使用してください。正常に動作しない場合や、モニターを落としたり破損したりした場合には、HP のサポート窓口にお問い合わせください。
- 外部電源は、モニター裏面のラベルに記載された条件に適合するものを使用してください。
- 電源コンセントに接続する機器の定格電流の合計が電源コンセントの許容電流を、またコードに接続する機器の定格電流の合計がコードの許容電流を超えないようにしてください。各機器の定格電流（AMPS または A）は本体に貼付された電源のラベルに記載されています。
- モニターは、手が届きやすい場所にあるコンセントの近くに設置します。外部電源コードをコンセントから外すときは、必ずプラグをしっかりと持って抜きます。コードを引っぱって抜かないでください。
- モニターを使用していないときには、モニターの電源を切るようにしてください。スクリーンセーバープログラムを使用したり、モニターを使用していないときに電源を切るようにしたりすると、モニターを長くお使いいただけます。

 **注記：** モニター画面の「焼き付き」は、HP の保証の対象外です。

- キャビネットのスロットや開口部は通気のために必要です。スロットや開口部をふさいだり覆ったりしないでください。また、異物を押し込んだりしないでください。
- モニターを落としたり、不安定な台の上に置いたりしないでください。
- 外部電源コードの上に物を置いたり、外部電源コードを足で踏んだりしないでください。
- モニターは通気のよい場所に設置し、過度の光熱や湿気にさらさないようにします。
- モニタースタンドを取り外すときは、モニターの表面を傷つけたり、汚したり、破損したりしないように、表面が柔らかい場所に前面を下にして置いてください。

### モニターの清掃

1. モニターの電源を切り、電源コンセントから外部電源コードを抜き取ります。
2. 清潔で柔らかい、静電気防止加工のされた布で画面およびキャビネットを拭いて、モニターからほこりを取り除きます。
3. 汚れが落ちにくい場合は、水とイソプロピルアルコールを 50 : 50 の割合で混合した溶液を使用します。


 **重要：** 布にクリーナーをスプレーし、湿らせた布を使用して画面をそっと拭きます。決して、クリーナーを画面に直接吹きかけないでください。クリーナーがベゼル裏側に入ってしまう、電子部品が損傷するおそれがあります。

**重要：** ベンゼン、シンナーおよびその他の揮発性の溶剤など、石油系の物質を含むクリーナーをモニター画面やキャビネットの清掃に使用しないでください。これらの化学物質を使用すると、モニターが損傷するおそれがあります。

## モニターの運搬

モニターを運搬する場合は、モニター出荷時の梱包箱および緩衝材、またはそれらと同等の部材を使用してしっかり梱包してください。

# A 技術仕様

 **注記:** 以下の仕様はすべて、HP 製品の各コンポーネントの製造元から提供された標準的な仕様を表しています。このため、実際の動作時の数値とは異なる場合があります。

この製品の最新の仕様またはその他の仕様について詳しくは、<http://www.hp.com/go/quickspecs/>（英語サイト）にアクセスして、該当するモニターモデルを検索し、モデル別の情報を参照してください。

## 23.8 インチ（対角長 60.5 cm）モデル

仕様	測定値
ディスプレイ	23.8 インチ（60.5 cm）ワイドスクリーン
種類	IPS LCD
表示可能画像サイズ	60.5 cm/23.8 インチ（対角方向）
最大質量（非梱包時）	4.0 kg
寸法（スタンドを含む）	
高さ	46.0 cm
奥行き	19.4 cm
幅	54.0 cm
傾斜角度調整の範囲	-5 ~ 21°
左右回転の調整の範囲	-45 ~ 45°
高さの調整の範囲	100 mm
最大グラフィックス解像度	1920×1080（75 Hz）
最適グラフィックス解像度	1920×1080（60 Hz）
環境条件	
動作時温度	5 ~ 35°C
非動作時温度	-20 ~ 60°C
非動作時湿度	5 ~ 95%（結露なし）
動作時湿度	20 ~ 80%（結露なし）
動作保証高度	
動作時	0 ~ 5,000 m
非動作時	0 ~ 12,192 m
電源	100 ~ 240 VAC、50/60 Hz
測定された消費電力	
最大電力	22 W
通常設定	20 W

仕様	測定値
スリープ時	0.3 W
電源切断時	0.3 W
入力端子	HDMI 入力端子×1、VGA コネクタ×1

## 27 インチ（対角長 68.6 cm）モデル

仕様	測定値
ディスプレイ	27 インチ（68.6 cm）ワイドスクリーン
種類	IPS LCD
表示可能画像サイズ	68.6 cm/27 インチ（対角方向）
最大質量（非梱包時）	4.9 kg
寸法（スタンドを含む）	
高さ	50.0 cm
奥行き	19.4 cm
幅	61.2 cm
傾斜角度調整の範囲	-5 ~ 21°
左右回転の調整の範囲	-45 ~ 45°
高さの調整の範囲	100 mm
最大グラフィックス解像度	1920×1080（75 Hz）
最適グラフィックス解像度	1920×1080（60 Hz）
環境条件	
動作時温度	5 ~ 35°C
非動作時温度	-20 ~ 60°C
非動作時湿度	5 ~ 95%（結露なし）
動作時湿度	20 ~ 80%（結露なし）
動作保証高度	
動作時	0 ~ 5,000 m
非動作時	0 ~ 12,192 m
電源	100 ~ 240 VAC、50/60 Hz
測定された消費電力	
最大電力	26 W
通常設定	24 W
スリープ時	0.3 W
電源切断時	0.3 W
入力端子	HDMI 入力端子×2、VGA コネクタ×1



## 電源アダプター

製造元	モデル番号	電源電圧	モニターのモデル
Delta	ADP-30BD D	19 V (30 W)	23.8 インチ (対角長 60.5 cm)
	ADP-40LD D	19 V (40 W)	27 インチ (対角長 68.6 cm)
Honor	ADS-40NP-19-1 19030E	19 V (30 W)	23.8 インチ (対角長 60.5 cm)
	ADS-40NP-19-1 19040E	19 V (40 W)	27 インチ (対角長 68.6 cm)

## プリセットディスプレイ解像度

以下の表に示すディスプレイ解像度はこのモニターで使用される最も標準的なもので、初期設定として設定されています。モニターによってこれらのプリセットモードが自動的に認識され、正しいサイズの画像が画面の中央に表示されます。

プリセットディスプレイ解像度			
(1)	640×480 (60 Hz)	(11)	1280×1024 (60 Hz)
(2)	640×480 (75 Hz)	(12)	1280×1024 (75 Hz)
(3)	720×400 (70 Hz)	(13)	1366×768 (60 Hz)
(4)	800×600 (60 Hz)	(14)	1440×900 (60 Hz)
(5)	800×600 (75 Hz)	(15)	1440×900 (75 Hz)
(6)	1024×768 (60 Hz)	(16)	1600×900 (60 Hz)
(7)	1024×768 (75 Hz)	(17)	1680×1050 (60 Hz)
(8)	1280×720 (60 Hz)	(18)	1920×1080 (60 Hz)
(9)	1280×800 (60 Hz)	(19)	1920×1080 (75 Hz)
(10)	1280×800 (75 Hz)		

## ユーザーモードの使用

以下のような場合、ビデオコントローラーから送られてくる信号がプリセットモードと一致しないことがあります。

- 標準グラフィックスアダプターを使用していない場合
- 標準グラフィックスアダプターを使用しているがプリセットモードを使用していない場合


このような場合、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューでモニターのパラメーターを再調整する必要があります。変更は、適用したいモードすべてに対して行うことができ、メモリに保存されます。モニターには新しい設定が自動的に保存され、この新しいモードはプリセットモードと同様に自動的に認識されます。プリセットモードの他に、10以上のユーザーモードを新しく登録して保存できます。

## 省電力機能

このモニターでは、省電力状態がサポートされます。水平同期信号または垂直同期信号が検出されない場合、モニターは省電力状態になります。このように信号が検出されない場合は、モニターの画面には何も表示されず、バックライトはオフになり、電源ランプはオレンジ色に点灯します。省電力状態時のモニターの消費電力は0.3 Wです。短時間のウォームアップ後に通常の動作モードに戻ります。

省電力機能の設定の手順について詳しくは、コンピューターに付属の説明書を参照してください（省電力機能は、エネルギーセーブ機能、パワーマネージメント機能、節電機能など、説明書によって名称が異なる場合があります）。

---

 **注記：**上記のモニターの省電力機能は、省電力機能に対応するコンピューターに接続されている場合にのみ有効です。

---

モニターのエネルギーセーブユーティリティ内で設定値を選択すると、事前に決めた時刻にモニターが省電力状態になるように設定することもできます。モニターのエネルギーセーブユーティリティによってモニターが省電力状態になると、電源ランプはオレンジ色に点灯します。

## B ユーザー サポート

### ユーザー サポート

HP では、ダイバーシティ（人材の多様性）、インクルージョン（受容）、およびワークライフバランスを自社の構造に組み込もうと日々努力しており、あらゆる業務にそれが反映されています。ここでは、世界中で人と技術力を結び付けることを重視したすべての人が活躍できる環境をつくるために、HP がどのように働き方に変化をもたらしているかについていくつかの例を挙げて説明します。

### 必要なテクノロジーツールの確認

テクノロジーは、人間の潜在能力を引き出すことができます。支援技術は、障壁を取り除き、自宅、職場、およびコミュニティでの自立を後押しするためのものです。支援技術によって、デスクトップコンピュータ、ノートブックコンピュータ、タブレット、携帯電話、プリンターなどの電子技術や情報技術の機能を向上、維持、および改善することができます。詳しくは、[28 ページの最適な支援技術の確認](#)を参照してください。

### HP の取り組み

HP は、お身体の不自由な方にもご利用いただける製品やサービスを提供できるよう取り組んでいます。こうした取り組みは、HP の目標であるダイバーシティを実現し、あらゆる人が確実にテクノロジーを活用できるようにするために役立ちます。

ユーザー サポートにおける HP の目標は、単体で、または適切な補助ツールや支援技術と組み合わせることにより、お身体の不自由な方にも効果的にお使いいただけるような製品やサービスを設計、製造、販売することです。

目標達成のために、この HP ユーザー サポート ポリシーでは、HP の企業としての取り組みの指針となる 7 つの主要な目標が設定されています。HP のすべてのマネージャーおよび従業員は、自分の役割や責任に従ってこれらの目標とその実現をサポートするよう期待されます。

- 社内でユーザー サポート問題への認識を高めて、お身体の不自由な方にもご利用いただける製品やサービスの設計、製造、販売、および配送に必要なトレーニングを従業員に提供します。
- 製品やサービスに関するユーザー サポートのガイドラインを作成し、製品開発グループに対しては、競争力、技術、および経済性の観点から実現可能な範囲でガイドラインに従う責任を課します。
- お身体の不自由な方に、ユーザー サポートのガイドラインの作成、および製品やサービスの設計およびテストに参加していただきます。
- ユーザー サポート機能を文書化し、HP の製品やサービスに関する情報を、お身体の不自由な方にもご利用いただける形で一般に公開します。
- 最先端の支援技術および支援ソリューションのプロバイダーとの関係を築きます。
- HP の製品やサービスに関連する支援技術の向上につながる社内および社外での研究開発をサポートします。
- ユーザー サポートに関する業界の標準やガイドラインを支持し、それらに貢献します。

## IAAP (International Association of Accessibility Professionals)

IAAP は、人の交流、教育、および認定を通じてユーザーサポートに関する専門職の発展を目指す非営利団体です。ユーザーサポートの専門家のキャリア形成やキャリアアップを支援したり、企業がユーザーサポートを自社の製品やインフラストラクチャに組み込むようにすることを目標としています。

HP は設立メンバーであり、他の企業と協力してユーザーサポートの分野を発展させるために加わりました。この取り組みは、お身体の不自由な方にも効果的にお使いいただける製品やサービスを設計、製造、販売するという HP のユーザーサポートの目標の達成を後押しします。

IAAP は、世界中の個人、学生、および組織を結び付け、お互いに学び合えるようにすることで、私たちの業務自体をも強めることにつながります。詳しい情報をお知りになりたい場合は、<http://www.accessibilityassociation.org/> (英語サイト) にアクセスして、オンラインコミュニティに参加したり、ニュースレターにサインアップしたり、メンバーシップの種類を確認したりしてください。

## 最適な支援技術の確認

お身体の不自由な方やご年配の方も含め、すべての人がテクノロジーを用いてコミュニケーションをとり、自己表現し、世界とつながりを持てるようになるべきだと HP は考えます。HP は、社内だけでなく、お客様やパートナーとともに、ユーザーサポートに関する意識の向上に努めています。目にやさしい大きいフォント、両手を休ませることができる音声認識、特定の状況で役立つその他の支援技術など、さまざまな支援技術が HP 製品の操作性を向上するために利用されています。以下のセクションでは、支援技術や製品を選択する方法を説明します。

## ご自身のニーズの評価

テクノロジーは、お客様の能力を引き出すことができます。支援技術は、障壁を取り除き、自宅、職場、およびコミュニティでの自立を後押しするためのものです。支援技術 (AT) によって、デスクトップコンピューター、ノートブックコンピューター、タブレット、携帯電話、プリンターなどの電子技術や情報技術の性能を向上、維持、および改善することができます。

お客様は多数の AT 製品から選択できます。AT の評価では、いくつかの製品を評価し、疑問点を解決し、状況に合った最善のソリューションを選択できるようにする必要があります。AT を評価する資格を持つ専門家の専門分野は多岐にわたり、理学療法、作業療法、音声言語病理学、およびその他の専門分野で免許や認定を取得した人が含まれます。ただし、認定や免許がなくても評価情報を提供できます。個人の経験、専門知識、および料金について尋ね、ご自身のニーズに合っているかを判断してください。

## HP 製のコンピューターおよびタブレット製品のユーザーサポート

以下のリンクでは、各種の HP 製品に組み込まれているユーザーサポート機能および支援技術 (該当する場合) について説明しています。状況に最も適した支援技術の機能や製品を選択するために役立つリソースです。

- [HP Elite x3 – ユーザー補助オプション \(Windows 10 Mobile\) \(英語サイト\)](#)
- [HP PC – アクセシビリティ オプション \(Windows 7\)](#)
- [HP PC – Windows 8 アクセシビリティ オプション](#)
- [HP パソコン – Windows 10 のアクセシビリティ オプション](#)
- [HP 7、Slate 7 タブレット – HP タブレット \(Android 4.1/Jelly Bean 搭載\) でのユーザー補助機能の有効化](#)
- [HP SlateBook PC – ユーザー補助機能を有効にする \(Android 4.2、4.3/Jelly Bean\)](#)

- [HP Chrome OS – HP Chromebook または Chromebox でユーザー補助機能をオンにする \(Chrome OS\)](#)
- [HP のショップ – HP 製品の周辺機器](#)

HP 製品のユーザーサポート機能の他に追加のサポートも必要な場合は、[33 ページの HP のサポート窓口へのお問い合わせ](#)を参照してください。

追加の支援を提供できる外部のパートナーやサプライヤーへのリンクは以下のとおりです。

- [Microsoft®のアクセシビリティ情報 \(Windows 7、Windows 8、Windows 10、Microsoft Office\)](#)
- [Google ユーザー補助機能 \(Android、Chrome、Google アプリ\)](#)
- [お困りの種類別に分類された支援技術 \(英語版\)](#)
- [製品別に分類された支援技術 \(英語版\)](#)
- [支援技術ベンダーと製品の説明 \(英語版\)](#)
- [ATIA \(Assistive Technology Industry Association\) \(英語版\)](#)

## 標準および法令

### 標準

FAR (Federal Acquisition Regulation : 連邦調達規則) に言及されている Rehabilitation Act の 508 条は、US Access Board によって、身体、知覚、または認知の障がいがある方が情報通信技術 (ICT) にアクセスできることを明記するために策定されました。この標準には、対象製品の機能に重点を置いた性能ベースの要件に加えて、各種テクノロジーに固有の技術基準が含まれています。固有の基準は、ソフトウェアアプリケーションおよびオペレーティングシステム、Web ベースの情報およびアプリケーション、コンピューター、電気通信関連の製品、動画やマルチメディア、および独立式の閉鎖型製品を対象とします。

### Mandate 376 – EN 301 549 (欧州連合向け)

The EN 301 549 standard was created by the European Union within Mandate 376 as the basis for an online toolkit for public procurement of ICT products. The standard specifies the functional accessibility requirements applicable to ICT products and services, together with a description of the test procedures and evaluation methodology for each accessibility requirement.

### WCAG (Web Content Accessibility Guidelines)

W3C の WAI (Web Accessibility Initiative) によって公開された WCAG (Web Content Accessibility Guidelines) は、Web の設計者や開発者が、お身体の不自由な方やご年配の方のニーズに合ったサイトを作成するために役立ちます。WCAG は、さまざまな Web コンテンツ (テキスト、画像、オーディオ、動画) および Web アプリケーションによってユーザーサポートを向上させるガイドラインです。WCAG は厳密にテストでき、理解や使用が容易で、Web 開発者が新しい発想を取り入れられるように柔軟性を持たせています。WCAG 2.0 は、[ISO/IEC 40500:2012](#) としても承認されました。

WCAG では特に、視覚、聴覚、身体、認知、神経の障がいがある方やサポートを必要とするご年配の Web ユーザーが Web 利用時に直面する障壁に対応しています。WCAG 2.0 にはお身体の不自由な方でも利用しやすいコンテンツの特徴が明記されています。

- **知覚可能** (画像のテキストによる代替、オーディオのキャプション、提供方法への適応性、色のコントラストなど)
- **操作可能** (キーボード操作、色のコントラスト、タイミング調整、発作の防止、ナビゲーション可能)

- **理解可能**（読みやすさ、予測可能性、入力支援など）
- **堅牢性**（支援技術との互換性など）

## 法令および規制

IT および情報のユーザー サポートは、法的な重要性が高まりつつある分野になってきました。このセクションの各リンクから、主要な法令、規制、および標準に関する情報を確認できます（英語のみ）。

- [United States（米国向け）](#)
- [Canada（カナダ向け）](#)
- [Europe（欧州向け）](#)
- [United Kingdom（英国向け）](#)
- [Australia（オーストラリア向け）](#)
- [全世界](#)

### United States（米国向け）

Section 508 of the Rehabilitation Act specifies that agencies must identify which standards apply to the procurement of ICT, perform market research to determine the availability of accessible products and services, and document the results of their market research. The following resources provide assistance in meeting Section 508 requirements:

- [www.section508.gov](http://www.section508.gov)
- [Buy Accessible](#)

The U.S. Access Board is currently updating the Section 508 standards. This effort will address new technologies and other areas where the standards need to be modified. For more information, go to [Section 508 Refresh](#).

Section 255 of the Telecommunications Act requires telecommunications products and services to be accessible to people with disabilities. FCC rules cover all hardware and software telephone network equipment and telecommunications equipment used in the home or office. Such equipment includes telephones, wireless handsets, fax machines, answering machines, and pagers. FCC rules also cover basic and special telecommunications services, including regular telephone calls, call waiting, speed dialing, call forwarding, computer-provided directory assistance, call monitoring, caller identification, call tracing, and repeat dialing, as well as voice mail and interactive voice response systems that provide callers with menus of choices. For more information, go to [Federal Communication Commission Section 255 information](#).

### 21st Century Communications and Video Accessibility Act (CVAA)（米国向け）

The CVAA updates federal communications law to increase the access of persons with disabilities to modern communications, updating accessibility laws enacted in the 1980s and 1990s to include new digital, broadband, and mobile innovations. Regulations are enforced by the FCC and documented as 47 CFR Part 14 and Part 79.

- [FCC Guide on the CVAA](#)

Other U.S. legislation and initiatives

- [Americans with Disabilities Act \(ADA\), Telecommunications Act, the Rehabilitation Act and others](#)



## Canada (カナダ向け)

The Accessibility for Ontarians with Disabilities Act was established to develop and implement accessibility standards to make goods, services, and facilities accessible to Ontarians with disabilities and to provide for the involvement of persons with disabilities in the development of the accessibility standards. The first standard of the AODA is the customer service standard; however, standards for transportation, employment, and information and communication are also being developed. The AODA applies to the Government of Ontario, the Legislative Assembly, every designated public sector organization, and to every other person or organization that provides goods, services, or facilities to the public or other third parties and that has at least one employee in Ontario; and accessibility measures must be implemented on or before January 1, 2025. For more information, go to [Accessibility for Ontarians with Disability Act \(AODA\)](#).

## Europe (欧州向け)

EU Mandate 376 ETSI Technical Report ETSI DTR 102 612: "Human Factors (HF); European accessibility requirements for public procurement of products and services in the ICT domain (European Commission Mandate M 376, Phase 1)" has been released.

Background: The three European Standardization Organizations have set up two parallel project teams to carry out the work specified in the European Commission "Mandate 376 to CEN, CENELEC and ETSI, in Support of Accessibility Requirements for Public Procurement of Products and Services in the ICT Domain."

ETSI TC Human Factors Specialist Task Force 333 has developed ETSI DTR 102 612. Further details about the work performed by STF333 (e.g., Terms of Reference, specification of the detailed work tasks, time plan for the work, previous drafts, listing of comments received and means to contact the task force) can be found at the [Special Task Force 333](#).

The parts relating to the assessment of suitable testing and conformity schemes were carried out by a parallel project, detailed in CEN BT/WG185/PT. For further information, go to the CEN project team website. The two projects are closely coordinated.

- [CEN project team](#)
- [European Commission mandate for e-accessibility \(PDF 46KB\)](#)
- [Commission takes low profile on e-accessibility](#)

## United Kingdom (英国向け)

The Disability Discrimination Act of 1995 (DDA) was enacted to ensure that websites are accessible to blind and disabled users in the United Kingdom.

- [W3C UK Policies](#)

## Australia (オーストラリア向け)

The Australian government has announced their plan to implement [Web Content Accessibility Guidelines 2.0](#).


All Australian government websites will require Level A compliance by 2012, and Double A by 2015. The new standard replaces WCAG 1.0, which was introduced as a mandated requirement for agencies in 2000.

## 全世界

- [JTC1 SWG-A \(Special Working Group on Accessibility\) \(英語サイト\)](#)
- [G3ict: The Global Initiative for Inclusive ICTs \(英語サイト\)](#)
- [イタリアのユーザーサポート法令 \(イタリア語サイト\)](#)
- [W3C WAI \(Web Accessibility Initiative\) \(英語サイト\)](#)

## ユーザーサポートに関する役立つリソースおよびリンク

以下の組織から、障がいや年齢による身体的制限に関する適切な情報を得られる場合があります。

 **注記：**この一覧に記載されている組織がすべてではありません。これらの組織は、情報提供のみを目的として記載されています。インターネットで確認された情報または連絡先について HP は一切の責任を負わないものとします。このページの一覧は、HP による推奨を示すものではありません。

### 組織（英語のみ）

- AAPD（American Association of People with Disabilities）
- ATAP（Association of Assistive Technology Act Programs）
- HLAA（Hearing Loss Association of America）
- ITTATC（Information Technology Technical Assistance and Training Center）
- Lighthouse International
- National Association of the Deaf
- National Federation of the Blind
- RESNA（Rehabilitation Engineering & Assistive Technology Society of North America）
- TDI（Telecommunications for the Deaf and Hard of Hearing, Inc.）
- W3C WAI（Web Accessibility Initiative）

### 教育機関（英語のみ）

- カリフォルニア州立大学ノースリッジ校、Center on Disabilities
- ウィスコンシン大学マディソン校、Trace Center
- ミネソタ大学、Computer Accommodations Program

### 障がいに関するその他のリソース（英語のみ）

- ADA（Americans with Disabilities Act）Technical Assistance Program
- ILO Global Business and Disability Network
- EnableMart
- European Disability Forum（欧州障害フォーラム）
- Job Accommodation Network
- Microsoft Enable
- 米国司法省：A Guide to Disability Rights Laws

### HP のリンク

[お問い合わせの Web フォーム（英語サイト）](#)

[HP の『快適に使用していただくために』（言語を選択してください）](#)

[HP の公的機関への販売（米国向け）](#)



## HP のサポート窓口へのお問い合わせ

このガイドで提供されている情報で問題に対処できない場合は、以下の Web サイト、または日本向けの日本語モデル製品に付属の『サービスおよびサポートを受けるには』に記載されている HP のサポート窓口にお問い合わせください。日本でのサポートについては、<http://www.hp.com/jp/contact/> を参照してください。日本以外の国や地域でのサポートについては、[http://welcome.hp.com/country/us/en/wwcontact\\_us.html](http://welcome.hp.com/country/us/en/wwcontact_us.html)（英語サイト）から該当する国や地域、または言語を選択してください。

# 索引

## 記号/数字

508 条のユーザーサポートに関する標準 29, 30

## A

AT (支援技術)

確認 28

目的 27

## H

HP 支援ポリシー 27

HP のサポート窓口へのお問い合わせ  
せ 20

## I

International Association of  
Accessibility Professionals 28

## あ

安全に関する情報 1

## お

オンスクリーンディスプレイ 14

## か

画質の最適化 (アナログ入力) 18

## き

技術仕様 23

## け

傾斜角度の調整 10

ケーブルの接続 8

## さ

サポート窓口、ユーザーサポート 33

左右の向きの調整 10

## し

自動スリープモード 15

自動調整 (アナログ入力) 17

支援技術 (AT)

確認 28

目的 27

しみおよび画像の焼き付きに関する  
ポリシー 12

省電力機能 26

シリアル番号と製品番号の位置  
20

## せ

前面の各部 6

製品の特長 3

セキュリティロックケーブル、取  
り付け 12

## そ

ソフトウェアおよびユーティリ  
ティ 13

## た

高さの調整 10

## て

電源アダプターの仕様 25

電源ボタン 11

低ブルーライトモード 15

## と

トラブルシューティング 16

## は

背面の各部 4

## ひ

標準および法令、ユーザーサポ  
ート 29

## ふ

プリセットディスプレイ解像度  
25

## ほ

ボタンのロックアウト 17

保守に関するガイドライン 21

## も

モニタースタンド、取り付け 7

モニターの運搬 22

## ゆ

ユーザーサポート 27

ユーザーサポートに必要な評価  
28

## り

リソース、ユーザーサポート 32